

平成27年度第5回袖ヶ浦市公民館運営審議会

1 開催日時 平成28年2月19日 午後3時開会

2 開催場所 根形公民館2階講義・研修室

3 出席委員

委員長	稲毛 博夫	委員	中野 博恵
副委員長	茅田 充浩	委員	長崎 容子
副委員長	田中 直子	委員	山本 透
委員	河内 千代子	委員	大野 俊江
委員	石井 幸子	委員	鳥飼 知子

(欠席委員)

委員	伊藤 俊彦	委員	上嶋 茂代
----	-------	----	-------

4 出席職員

教育部長	鈴木 和博	長浦公民館副館長	中畑 浩治
生涯学習課長	原田 光雄	根形公民館館長	今井 裕文
市民会館館長	井口 崇	根形公民館副館長	宮崎 光男
市民会館副主幹	中山 義也	平岡公民館館長	若林 勲
平川公民館館長	深井 明	平岡公民館副館長	大津 忠志
平川公民館副館長	勝畑 克子	根形公民館主査	熊井 直子
長浦公民館館長	佐藤 紀文		

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 議 題

- (1) 平成27年度市民会館・公民館事業の成果と課題について
- (2) 平成28年度市民会館・公民館の経営方針(案)について
- (3) その他

7 議 事

議題（1）平成27年度市民会館・公民館事業の成果と課題について

稲毛委員長

議題1、平成27年度市民会館・公民館事業の成果と課題について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料に基づき、平成27年度市民会館・公民館事業の成果と課題について説明。）

稲毛委員長

ただいまの説明に対しまして、委員の皆様から質問や意見等がございましたらお願いします。

長崎委員

各公民館が行っている単発講座の中で、市民会館の「もったいない興味津々講座」、これはすごく良い講座だと思います。男の人にとって、特に単発講座は参加しやすいという点がありますし、地域の人とのコミュニケーションも取れるといった経験もできるので、本当に良い講座だと思います。他の館も始めているようですので、ぜひともこういった単発講座を続けていって欲しいと思います。それから、幼児家庭教育学級ですけれども、平川公民館の52人というのは、平川公民館と平岡公民館との合同の数ということだと思いますが、それぞれの回の参加者数というのは具体的にはわからないのでしょうか。

大津平岡公民館副館長

平川公民館と平岡公民館合同でやっておりまして、平川公民館を使ったり平岡公民館を会場にしたりしています。この中で、登録者の内訳ですが、平川地区の方以外の方も参加していますので、手元に資料がないですが、市内全域からの参加者もいます。

長崎委員

わかりました。それから幼児家庭教育学級ですが、前回の公民館運営審議会の会議で、市民会館で行っている講座のビデオの説明を受けましたが、幼児家庭教育学級は、基本として親子型でしょうか。それとも親子型ではなく、保護者型が原則でしょうか。親子型というのは結局はやってないのでしょうか。

井口市民会館館長

家庭教育学級そのものの位置付けとしては、成人教育に位置付けております。親子で取り組む、一緒に何かをやるイベントに参加したりだとか、どこかに一緒に出掛けたりだとかということは、今までやったことはあると思いますけれども、基本的な視点としては、親、大人というところで考えております。

長崎委員

長浦公民館は、以前親子型ということで講座運営を行っており、参加者が非常に多かった時期があります。それが保護者型ということで運営方針が変わった時に、講座生の数が少し少なくなりました。保育ボランティアひよこの会の参加もあり、それを利用して、親も子どもから離れて講座に参加したいといった意見、親同士でコミュニケーションを取りたいといった意見、このような希望があった中で、長浦公民館だけが親子型を取った時期がありました。批判されたりすることもありましたが、先ほど、時代の流れの変化によっても変わってきているというお話がありました。現在、子どもが学校に就学すると、親が働きに行く時代だと思います。そうすると、就園前といった、2歳から4歳くらいまでは、それこそ親と子のふれあいの事業があっても私はいんじゃないかなという気持ちがあります。そういった事業の中で、保育ボランティアに子どもを預け、親だけが座学で勉強するといった講座も年6回から7回設定するなど、その中の企画としてはいいと思います。そして、参加者主体といった講座生が企画するもの、行政でお膳立をする企画ではなく、参加者主体の企画として参加する親が望む内容ならば言うこともありません。そういったことであれば良いのですが、今の時代、子どもを早く手放したいといった親が多すぎるような気がしてなりません。それよりも、公民館でもっと親子の触れ合いの講座なりを考えた方が良いのではないか、これは私の個人的な意見にもなりますが、このような意見はどうかといったことがひとつあります。

井口市民会館館長

やはり、時代の変化には、当然公民館も敏感に反応していかなければならないといつも思っております。また、色々な行事や講座等をする中で、参加者の声やアンケートを毎回いただいたり、あるいは、職員が参加者の反応をうかがうような中で、常に考えていかなければいけないこととも思います。そして、そういったことを繰り返す中で、講座生の思いとして、親子型で何回か講座を実施したいということがあれば、それはしっかり考えていかなければならないと思います。

長崎委員

根形公民館の炊き出しの講座にすごく興味があります。知人が参加したとのことで、その感想を聞いたんですが、コミュニケーションを図ることも良くて

きたし、災害やいざというときにすごく役立つといった感想でした。こういったことは、他館でも色々やっていただきたいと思います。非常時の設定ではありませんが、持ち合わせのもので何か作ったりといった、素晴らしい体験ができたという感想を聞き、これは本当に良い講座だと思います。

今井根形公民館館長

私も、今年度根形公民館にお世話になって初めての体験でした。やはり、講座が終わって感じているのは、防災備蓄庫の中に何が入っていて、それがどのように使えるのか使えないのか、これは体験する必要が絶対あると思いました。例えば、釜やかまどがあり、そういったものについて、高齢の方たちが師匠になって子どもたちに教えるということもできました。防災備蓄庫の中に、チェーンソーも入っていて実際に体験してみたところ、エンジンはかかってもチェーンが回らなかったという状態でした。他の地区も、それから小学校や中学校にも備蓄庫がありますので、そういったことを話させていただいた次第です。併せて、明日、生涯学習推進大会がありますが、当館の社会教育推進員さんが、この炊き出し体験を中心とした発表を午後2時から行います。どうぞよろしければお聞きになっていただきたいと思います。

大野委員

何点かお願いします。親子で遊びに行くことやリズム遊びをすることを、家庭教育学級や幼児家庭教育学級の中で行うことは、たまにはいいと思います。お母さん自身、今のお母さんたちというのは、まだ親として馴染んでないといった印象を受けています。親としてのことを学ぶ機会というのは、昔はお姑さんとか親が同居していて、教わることもあったと思うんです。今の親には、そういう経験が不足していることもあり、子どもが同じ会場にいと、子どもが泣いたり、また、小さいお子さんということもあり、遊びまわったりして、お母さんたちも気が散ってしまうようなことも多いのが現状です。そのため、公民館で行う幼児家庭教育学級で、お母さんが子どもの手を幾分かでも放して学べる機会というのは、すごく重要な機会だなど私は反対に感じています。あといくつか質問をお願いします。平川公民館は、地域ふれあい推進事業といったものが3月に2回あると思います。この内容をちょっとお聞きしたいというのが一点。あと、長浦公民館は、青少年教育推進事業の中に通学合宿というものがあるのですが、先ほど、事務局からの説明の中にあつた、平川公民館のデイキャンプや平岡公民館の通学合宿などが、それぞれの地区住民会議がやっているということで、資料に公民館として記載されないのかというのが一点。各公民館で行っている利用者懇談会というのが終わったところと、これからのところがあるようですが、どういうことをしているのかということをお聞きしてみたいと思います。

勝畑平川公民館副館長

地域ふれあい推進事業を3月予定にしております、雛祭りを兼ねた太巻き寿司と春休みに工場見学に行く、この2つを計画しております。あと、デイキャンプですが、地区住民会議の行事ということで入っております。

中畑長浦公民館副館長

平川公民館と同様に、デイキャンプは地区住民会議で、通学合宿は公民館でやっております。利用者懇談会につきましては、登録サークルの方々を中心に公民館の利用において色々意見をうかがい、翌年度の公民館の利用、あるいは事業等に活かしていくための意見交換の会という風に認識しております。

鳥飼委員

それぞれの公民館館が特色のある事業を行っていて素晴らしいと思います。その中で、根形公民館のねこまろが3倍近くの申し込みがあった、これはすごいことであり、他の公民館で人を集めるヒントになるようなことがあるのではないかと思います。また、それだけ参加者を集めて実施するとなると、スタッフが大変ではないか。あまりにも大変だと、続けていくのも困難になるのではないか。そのあたりのことはどうなのか。根形公民館の事業のところに、子ども会活動の支援という記載があるので、こういうオープンキャンパスとかに子ども会も関係できるのではないか。子どものことなので、そういうところでうまく話し合って協力してできたら、子どもたちも楽しいのではないかなと思います。現在、子ども会の行事もあり、また、市の行事もあります。子どもって1人しかいませんし、参加できるものは、学校の時間以外の時間なので、抱き合わせたりして大きい事業をやってくれた方が、子どもにとっては楽しいんじゃないかと思います。そのあたりどうでしょうか。

今井根形公民館館長

ねこまろですが、広報といったPR活動と併せて、根形小学校のご協力をいただいて、先生方から声掛けをしていただけたかなという風を感じております。ご指摘のとおり、今回は、大変な児童数でありましたので、もし、中学生も応募してきていたらどうなっていたのかと、そういう気持ちもありました。N.O.Cの若者たちや公民館職員、サークルの団体の方、青少年相談員、市のレク協会さん、そういった方たちのご支援をいただいた事業であり、これ以上増えるようなことがあれば、さらに枠を広げていかなければいけないだろう、スタッフを募っていかないといけないだろう、ねこまろボランティアといった手も考えなければいけないかな、という風を感じています。子ども会さんについては、特に関わるということはありませんでした。

鳥飼委員

子ども会が参加しないことは、もったいないと思います。子ども会というのは、本当に地域の中の会だと思いますので。ありがとうございますした。

長崎委員

高齢者と子どもとのふれあいの講座がもう少しあっても良いのではないかと思います。以前、長浦公民館では、世代間ふれあい講座といった、高齢者と子どもたちとの講座があったんですが、いつの間にか消滅してしまいました。平岡公民館で行われているふれあい事業ですか、参加者が子どもから高齢者まで18人ということですが、どんな内容で行われたのでしょうか。

大津平岡公民館副館長

平岡地区の地域ふれあい事業について説明いたします。今年度2回実施いたしました。1回目につきましては、太巻き寿司講習会ということで、地域の方で講師の方がいらっしゃるのので、その方をお招きして、小学校にチラシを配布し、募集しました。それと高齢者の方、地域の方については、館内の掲示、また、各サークルの会員といった方々等が受付窓口に来た際に、「こういう講座がありますよ。」といったPRを行い開催しました。2回目も同じようなやり方で、内容としては、そば打ちを先週の2月11日に行い、地域の方、区の自治会の方が対象ですので、同じくチラシを配布し開催しました。延べ1回目が18人、2回目が21人の参加でした。

長崎委員

講座で作って食べるといったことでしょうか。

大津平岡公民館副館長

そうです。補足ですが、この時期の11日にやるということで、冬なので温かいそばにするか、冷たいそばにするか、そういう話を行ったうえで、準備と最後の片づけ等々を考えると、ざるそばにしようといった結論になりました。

大野委員

2回とも参加させていただきました。1回目の時に参加した小学生で、お母さんの実家の親に太巻き寿司を巻いてごちそうしたいといった女の子もいました。そば打ちでは、私は小学生の男の子2人と同じ班でした。2人ともすごく丁寧に一生懸命やっていて、片づけもガスコンロのところの拭き掃除とかもすすんで行っていました。作業の中で、「まず、おばあちゃんたちが洗うからあなたたちは拭くんだよ。」と言って、最初はお茶碗とかを洗った時に拭かせており、最後には、「きちんとすべてのところを拭き掃除して、ふきんをすすいで干すん

だよ。」ということまで指導し、皆きちんとできていました。また、マイ箸も持たせてくれたお母さんもいました。この講座を通じて、小学生の家庭が見えるというか、色んな子どもがいて、私たちもいい経験をさせていただきました。また、おそば作りの1つ1つの手順に、「あなたの番だよ、あなたの番だよ。」と言って、その子たちのすべての工程に手を加えたこともあるなど、良い経験になったと思います。先ほど、冷たいおそばとっておりましたが、大人もいるからやかんで冷たい汁を温めて対応することとし、冷たいのは嫌だという人には、温かいつけ麺にして食べる人がいたり、色々な人がいました。皆、和気あいあいと、ゆであがった自分たちのおそばを、「自分のところのものが1番おいしいね。」と言いがら食べていました。

井口市民会館館長

市民会館では、世代間交流を毎年ずっとやっており、恒例になっています。クリスマスリースや、実施時期が12月でしたので、お飾りづくりを行いました。今年の参加者を見てみると、男性、つまり、お飾り作りは、男性が参加するかなと思っていましたが、お母さんたちが非常に多い結果にびっくりいたしました。地区住民会議の中で、この事業だけでなく、色々なことを世代間交流を意識して行っています。

佐藤長浦公民館館長

長崎委員から指摘のあった世代間交流について、若干ご報告させていただきます。公民館事業としての世代間交流というのはなくなっておりましたが、青空の会といった地区住民会議、これが中心となり、長浦地区で年間7回体験活動を実施しています。公民館主体で高齢者と子どもたちを集めることになると、それこそ集まりきれない、行きたくても行けない方がいます。青空の会は、そのあたりをよく考えていて、各地区ごとに、例えば浜宿団地の自治会館を使ったり、あと、久保田の自治会館、長浦小学校、蔵波小学校を利用してというような形で地域で集まりやすいような形を整えながら、青空の会が中心になって、それを公民館としても後押しをする、協賛させていただいている、ということで続いておりますので、報告させていただきます。

茅田副委員長

先ほど、鳥飼委員の方から子ども会のお話、根形のオープンキャンパスについてお話がありました。N.O.Cの根形オープンキャンパスの若者の数というのはどのくらいいらっしゃるのでしょうか。

今井根形公民館館長

確定した数というのは、10名満たないんですが、実際ねこまろが始まって

みると、友達が来てくれるといった現状です。ねこまろの要として、N.O.Cの体制をどのように確保し、継続していくか、というのが大きな課題になっています。成人式を機会に、公民館の館員が新成人に積極的に声掛けをし、また、N.O.Cの仲間で後輩につなげていこうといった動きも現在あります。

茅田副委員長

先ほど鳥飼委員の方からあった、子ども会さんの参加も大変重要なんでしょうけれども、成り立ちからいくと、N.O.Cの組織というかメンバーをどうしていくかが私は本来からのメインだと思っています。子どもさんの人数も必要でしょうが、一番大きくしなきゃいけないのは、N.O.Cのメンバーを作っていくことが私は一番重要なことだと思っています。他の各種団体の方がお手伝いしていただけるのは大変良いことで、また、参加者が増えるのも良いことなんです。当初の成り立ちからいけば、N.O.Cのメンバーの横のつながりとか、縦のつながりを大きくしていくのが一番重要なことだと思います。参加人数にこだわるとも大事でしょうけれども、地域の若い世代の方々が今後地域の役に立ってもらえるような仲間作りをしていくのが本来の目的だと思っています。あまり参加人数とか今ある団体の方に手伝ってもらって、主体となるN.O.Cの方々が何か方向性が違ってくるといけませんので、その辺りを大事にしていっていただければと思います。あと、もう1つ、本来ならばこういういい方は大変失礼かもしれませんが、都市部、昭和地区とか本来から言えば長浦・蔵波地区でそういう若者世代の力を伸ばしていかなければ、組織ができていかなければいけないとは思っています。

根形の成人式の日、根形地域に恩返しをしたいという声が出てきたのが大変素晴らしいことだと思っていますので、他の館でも、今後地域に残る若者からそういう声があがってくればと思っています。話はまとまりませんが、参加人数にはこだわらず、これから背負ってくれる、いわゆる20代の大学生なりが地域にどうやって貢献していくか、という思いを大きくしてあげることが必要だと思っています。あまり参加人数とかにこだわらなくてもいいような気がしますので、今後ともよろしくお願いしたいと思います。

あと、もう一つ、小中学生の自然体験学習を各学校はやっています。それを皆に伝えていく場、ただ大人たちがやってあげるのではなく、自分たちが習ったことを、こういうことをできるんだよ、学んできたことを炊き出し体験の時にこうやってできるよ、と見せていくのも、子どもたちの自信になっていくと思いますので、大変良い事業だと思います。まとまりませんが、以上です。

今井根形公民館館長

ご助言ありがとうございました。

大野委員

中学校の家庭教育学級が、公民館と各PTAと連携しながら運営しているといったところが、私にはどういう連携をしているのかはつきり見えなかったので、その辺の説明をもう少ししていただきたいことと、幼児家庭教育学級の講座終了後、部屋を開放し、昼食をとることができるというのはすごく良いことだと思います。一般的に、子どもさんを連れてくるから幼児家庭教育学級はこういう対応をしているのかもわかりませんが、公民館が可能なら、各講座・主催事業、そういう時にも開放したらどうかなと思います。事業が終わった後、集団で昼食を色々なところに向かっているのを見ます。部屋を開放してあげることで、コンビニで色々なものがありますので、もしかしたらお弁当とかを持ってきて部屋で食べたらいかがかなと感じました。できるかぎりこう、有料化とか色々言われますけど、お昼休みからの時間を少しでも開放して欲しいなということを思っています。あと、中学校と公民館で行う家庭教育学級のことを教えてください。私は少し中学校へ丸投げかなというような感じに見えていますが、連携しているというのは、どういう連携をしているのでしょうか。

中山市民会館副主幹

中学校家庭教育学級ですが、各館地元の中学校へ委託という形で、企画運営を委託して実施しています。その中で、ただ委託しているというわけではありません。中学校のPTAの役員さんも何年も続けている役員さんはほとんどいなく、だいたい1年で交代とかしておりますので、市民会館や各公民館の職員は、アドバイザー役として企画運営に関わっているという連携です。

大野委員

平岡公民館は、担当の中学校区がないのでわからないのですが、社会教育推進員さんも中学校家庭教育学級に関わっているのでしょうか。

中山市民会館副主幹

中学校家庭教育学級には、社会教育推進員さんは直接は関わっていません。

大野委員

講座のメニューを決める時に、職員の方が行って一緒にやっているということでしょうか。

中山市民会館副主幹

PTA役員研修委員さんや、研修部の方たちが、企画運営の打ち合わせをするときも同席しています。わからない点などを聞かれたときに、それに対してアドバイスしています。

佐藤長浦公民館館長

長浦公民館についても同様の対応をしています。

稲毛委員長

他に質問等ございますか。

田中副委員長

1 ページの市民会館の主催事業、舞台コーディネーター養成講座に参加させていただきました。職員の方の熱意と誠実さが伝わってくる、大変良い養成講座でした。もちろん、講師の方、県の文化会館の方だったり、プロの方、その方に教えていただくことができ、職員の方たちの準備なども大変だったと思うんですが、とても良い講座でした。こういうことを地道に続けていくことで、文化芸術の街全体の活性化につながると思いますし、講座生が還元できるようになるには、まだちょっと時間はかかると思います。何しろ年4回だと身につかなくて。少しでも長く、予算は大変かもしれませんが、継続していただければと思います。

稲毛委員長

議題2、平成28年度市民会館・公民館の経営方針（案）について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料に基づき、平成28年度市民会館・公民館の経営方針（案）について説明。）

稲毛委員長

ただいまの説明に関しまして、委員の皆様から意見等がございましたらお願いいたします。

茅田副委員長

新規事業のところで、2つとも夢のあるお話で良いと思います。市民会館の旧レストランは、法律的な関係もあると思いますが、非営利団体が喫茶スペースを自分たちでやるとなったら、貸し出すつもりはありますか。今はフリースペースになっていますが。

井口市民会館館長

実際すでに地区社教の方たちが、「サロンいきすこ」として月1回の使用を始めています。NPOとかそういった団体のことでしょうか。

茅田副委員長

喫茶スペースで起業しようと思っても、法律的に役所関係で収益とかの関係があると思いますが、女性の皆さんが、趣旨に沿って飲食業とか喫茶をやろうとしたときに法律的にどうでしょうか。

井口市民会館館長

レストランそのものが、今までも企業の方に出店していただいていたので、ここで起業したいということであれば、もちろん使っていただきたいと思っています。

大野委員

女性に限るのでしょうか。

井口市民会館館長

女性の交流、人の動きということで考えておりますが、状況によって変更をかけていってもいいと思っています。今考えているのは、対岸からバスとかでもここは通ってこられる地域なので、そういう人たちだってここで試すことができるよというような提案もしたいと思っています。

稲毛委員長

ボランティアの人たちがあそこを借りてやりたいなという話があるようなんですが、聞いていますか。例えば、奈良輪会館や、色々な会館でそういうものを行っている人たちがいますが、そういうようなものをレストランの場所でやって使えるものなのかということです。地区の会館では狭いから、そういうことを言っているのではないかと思います。

井口市民会館館長

平成31年までの計画として位置付けています。28年度何をやるかという、学校の学食とか社員食堂とか、そういったところを含めた調査を行ったりしますので、何かに使うという動きは、まだ28年度は出てきません。

そういった中で、この事業に本格的に着手をして女性シェフを生み出していくというような状況に達した時には、お使いいただくことはできなくなるかもしれません

けれども、それまでは、単発的にと言ったらおかしいですが、使いたいんだということになれば、検討しなければいけないと思います。

中野委員

地区住民会議への支援ということですが、今、小学校などで昔遊びといった

ことを実施しており、ボランティア、かなりの方が、お手伝いされています。こういうものについても、バックアップ的なものがなされているのかということろはどうなのでしょう。

井口市民会館館長

長浦公民館ですとか、色々な館でも、昔遊びを高齢の方が伝えていくというのは、折に触れてメニューの中に取り込んでいるとは思いますが。そういったところは、しっかりと充実をさせていくのは大事なことだと思っております。

中野委員

先ほど出ました炊き出し訓練ですが、各自治会でかなりやられていると思います。

というのは、1つに、自治会の中で防災組織を作りまして、市の方から資機材を全部いただいております。釜からなにかから発電機からすべてです。そういうものを使った訓練というのを、自治会単位でもやられています。その辺の連携ですよね。やられてないところもあると思いますし、やっているところは徹底してやっていますね。例えば、私がいる長浦駅前5丁目は率先して、先日も炊き出し訓練を行いました。そういう情報を集めて、1つの連携的なものをつかんでいただいて、自治会に応援をいただくというような方法で徹底することでも1つの公民館としての役割かなと思うんですけども、そういうものを1つよろしく願いたいと思います。

大野委員

先ほど、中野委員のおっしゃったような昔遊びというのは、今、幼稚園でも小学校でも結構やっていて、お手玉にしても色々ものにしても、私なんか年代くらいまでが限界かなと思う。おじいちゃんやおばあちゃんが参加と言われても、もうちょっと年配の人が来てくれた方が、歌ややり方がわかると思うんです。だから実際は、高齢者学級に参加するような方と、小学校くらいが連携してできれば一番いいんじゃないかと思うんです。高齢者学級でも若い方が来てるので、幼稚園は、私がお手伝いに行くと、参加を望んでるのはもうちょっとお年寄りなんですよね、といつも言われるんです。言われてることはわかるんですが、私たちも、おじいちゃんやおばあちゃんに教わったある程度のことくらいしかわからず、昔遊びの全部が全部わかるとは言えないです。もうちょっと年配の人が知っていることが、これでもう途絶えちゃうかなと思えることが多いので、その辺も公民館で継承していくというのも重要だと思います。高齢者学級に参加している方からもらえる知識を、すべてもらわないと途絶えてしまうのかな、というのがすごく危惧しているところで、その点取り組んでいただきたいと思います。

井口市民会館館長

わかりました。地域連携も高齢者向けの事業を考えて、そういった点も取り入れていきたいと思います。

夢田副委員長

中野委員から発言があった、地区の防災のことで、根形公民館の炊き出しはそのまま継続して、他のところもできれば同様に行って欲しいと思います。

防災組織を作るにあたっては、行政の方は知っていると思いますが、それが進まない理由もお分かりかと思いますが、防災組織があるところは、年のうち何回かは活動をやらないといけないというのがあり、都市部の方は進まない理由があると思います。自分のところの地区でいうと、あるところとないところがあって、あるところは、新しい住民の方の集まる場所があります。旧住民の方のところは、こういう言い方は変ですが、自分たちでどうにかできるというのがあり、もう1つ防災組織ができないという理由は、役員組織とか組織を作って、かつ、地区の住民が年何回かやらなければいけないというのがあり、市全体で進まない理由かと思いますが、根形公民館がやっているように、他のところからも協力を得ながら、あるところはあるところで、ないところはないところでやっていかないと、防災組織は、現状はわかりませんが、できてないと思います。

長崎委員

今のことに関連したことなんですが、自治会で防災訓練があっても、参加して傍観者になるだけなんです。実際に、自分が本当に体験してっていうことが、そういう良い経験ができませんので、公民館サイドで実際に動いて体験するっていうことは、公民館事業として取り入れるべきと感じます。それと、先ほどの伝承ゲームにしても、高齢者教室の中に子どもたちを取り込んで一緒に講座として開催するというのが、本当に大切なことだと思いますので、よろしく願いいたします。

稲毛委員長

議題3 その他ですが、これについて事務局の方から何かございますか。

井口市民会館館長

事務局からはございません。

長崎委員

これが議題になるかはわからないんですが、長浦公民館まつりの時に、調理室の排水の方が排水漏れというのでしょうか、水が上がってきてすごく不衛生

な印象を受けました。雨漏り対策や調理室の補修とか、そういった点検もしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

佐藤長浦公民館館長

一時、洗浄をかけて通るようになったんですが、安心したら、また、最近調子が悪くなってしまっています。根本的には、老朽化ということがあるのかもしれませんが、利用してくださる方が不便を感じないような状態を維持するのが我々の仕事ですので、何とか働きかけをして、不都合がないように頑張っていきたいと思います。皆さんの声が市役所を動かすと思います。

8 報 告

(1) 平成28年袖ヶ浦市成人式の実施結果について

稲毛委員長

報告(1)、平成28年袖ヶ浦市成人式の実施結果について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき、平成28年袖ヶ浦市成人式の実施結果について説明。)

稲毛委員長

それでは、今、事務局より説明がありましたけど、委員の皆さまは各地区の成人式に出ておられますので、その中で気づいたようなことがありましたら、ここで発表していただきたいと思います。

長崎委員

記念品は、本ということで来年度も続行ですか。

井口市民会館館長

皆さんに意見をいただいているところですので、検討させていただきたいと思っております。

長崎委員

できましたら、ぜひ、記念写真を検討していただきたいと思います。それから、長浦公民館で3名ほど外国人の方がいらっしゃるかと思いますが、だんだん、成人式も外国の方がいらっしゃるようになったんだな、というのを感じたんですが、他の館ではそういうことはないでしょうか。

井口市民会館館長

市民会館はありません。

勝畑平川公民館副館長

平川公民館もありません。

宮崎根形公民館副館長

根形公民館もありません。

若林平岡公民館館長

平岡公民館もありません。

長崎委員

長浦公民館だけですね。インドネシアの方でした。

稲毛委員長

あとはよろしいですか。

質疑がなければ、報告については、これで終わらせていただきます。

次に報告（２）その他ですが、何かございますか。

井口市民会館館長

コマーシャルをさせていただきます。市民会館の大ホールを使って、NHKのBSプレミアムの番組の収録が行われました。「初恋芸人」というドラマで、連続ドラマの放送は始まっていますが、４月１２日、夜１１時１５分から１１時４４分まで、市民会館が番組の後半から登場します。それと、最終回になるそうなんですけれども、１９日に同じ時間に放送されます。

宮崎根形公民館副館長

根形公民館ですが、資料４ページの「その他 利用者懇談会」を２月１６日に開催したんですが、来年度、多目的ホールの工事が入り、５月の中旬から８月の中旬まで使えなくなりますので、２月に開催させていただきました。よろしく申し上げます。

大野委員

今日来ましたら、根形公民館がお雛様を飾られていて、すごく心地よく迎えていただきました。ありがとうございました。

中山市民会館副主幹

最後に、次回の会議の予定を申し上げます。次回、平成28年度第1回公民館運営審議会は、5月13日、金曜日の午後3時より、市民会館で開催する予定です。よろしくお願いいたします。

田中副委員長

チラシを置かせていただきましたが、根形公民館の視聴覚室で、大人向けの一風変わったコントといますか、一人芸の世界を楽しんでいただくということで企画しました。インフルエンザのあおりを受け、参加者がなかなか増えないので、もしよろしかったらお願いします。

原田生涯学習課課長

明日、13時から生涯学習推進大会を開催いたします。生涯学習奨励賞等を表彰いたします。素晴らしい成績を残した児童・生徒がたくさんいますので、ぜひ、足を運んでいただきたいと思います。また15時から三学大学講座も行いますのでよろしくお願いいたします。

鈴木教育部部長

第5回公民館運営審議会、大変ご苦労さまでした。実は、私と宮崎根形公民館副館長は、この3月をもちまして退職させていただくことになりました。これまでの間、本当にお世話になりました。大変ありがとうございました。様々なご意見等いただいたことにつきましては、持ち帰りまして、これからも良い公民館の運営を図れるように、頑張っていきたいと思っております。退職とはいえ、3月までまだ1ヶ月弱あります。来週月曜日から2月定例議会が始まります。来年度の予算を主な内容とした議会ですけれども、議会以外についても精一杯公民館活動、生涯学習の推進に取り組んでいきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

稲毛委員長

公民館関係につきまして、委員に色々ご協力いただきまして、ありがとうございました。それでは予定された案件は、すべて終わりました。

午後4時50分閉会

平成27年度第5回公民館運営審議会

日時：平成28年2月19日（金）
午後3時～

場所：根形公民館2階講義・研修室

次 第

1 開会のことば

2 委員長あいさつ

3 教育部長あいさつ

4 議題

- (1) 平成27年度市民会館・公民館事業の成果と課題について
- (2) 平成28年度市民会館・公民館の経営方針（案）について
- (3) その他

5 報告

- (1) 平成28年袖ヶ浦市成人式の実施結果について
- (2) その他

6 閉会のことば

第 2 1 期袖ヶ浦市公民館運営審議会委員名簿

番号	氏名	選出区分	備考
1	いとう としひこ 伊藤 俊彦	学校教育 校長会	4 期目
2	かわうち ちよこ 河内 千代子	社会教育 文化協会	1 期目
3	いしい きちこ 石井 幸子	社会教育 子ども会育成会	1 期目
4	なかの ひろしげ 中野 博恵	社会教育 音楽協会	1 期目
5	いなげ ひろお 稲毛 博夫	社会教育 体育協会	5 期目
6	たなか なおこ 田中 直子	家庭教育 子どもるーぷ袖ヶ浦代表	4 期目
7	ただ みつひろ 茅田 充浩	学識経験者 元青少年相談員	3 期目
8	かみじま しげよ 上嶋 茂代	学識経験者 元民生委員	1 期目
9	ながさき ようこ 長崎 容子	学識経験者 元社会教育推進員	2 期目
10	やまもと とおる 山本 透	学識経験者 元青少年相談員	1 期目
11	おおの としえ 大野 俊江	学識経験者 元公民館職員	2 期目
12	とりかい ともこ 鳥飼 知子	学識経験者（公募委員） 社会教育推進員	1 期目

任 期 平成 26 年 7 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日
 (河内氏は森松氏の残任期間 平成 27 年 4 月 22 日から平成 28 年 6 月 30 日)

構成人数 男性委員 5 名 女性委員 7 名

議題（１）平成２７年度市民会館・公民館事業の成果と課題について

平成27年度市民会館主催事業実施状況報告

H28年1月31日現在

No.	事業名	時期・回数	対象及び延べ参加人数	
1	青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室	5月～1月 8回	昭和小学校・奈良輪小学校 4年～6年生 121人
2		子ども映画会	8月 1回	親子 70人
3	青少年健全育成事業	青少年相談員支部活動(共催事業)	通年	昭和地区青少年相談員(14人)
4		子ども会支部活動	通年	単位子ども会(9団体)
5		地区住民会議 (坂戸の森みどりの会)	通年	昭和地区各種団体(25団体)
6	成人教育推進事業	幼児家庭教育学級	6月～12月 8回	昭和地区の2歳～就学前幼児を持つ保護者 112人
7		地域家庭教育学級	7月～1月 5回	昭和地区の小学生の保護者 136人
8		中学校家庭教育学級	6月～12月 4回	昭和中学校生徒の保護者 85人
9		親業訓練入門講座	9月～10月 2回	市内在住・在勤の2歳から高校生の保護者 27人
10		親業訓練一般講座	5月～6月 8回	市内在住・在勤の2歳から高校生の保護者 40人
11		女性セミナー	5月～1月 8回	昭和地区の成人女性 150人
12		さわやかセミナー	10月～11月 3回	市内在住・在勤の40～60代男性 57人
13		舞台コーディネーター養成講座	8月～1月 4回	市内在住・在勤・在学の方 53人
14	モットイナイを実践する興味津々講座	1月 2回	昭和地区の成人 65人	
15	高齢者生きがい促進事業	昭和ふれあい教室	5月～2月 7回(全8回)	昭和地区の60歳以上の方 456人
16	各種行事推進事業	第28回市民会館まつり	10月31日 11月1日 (2日間)	6,488人・出品数998点
17		第34回市民音楽フェスティバル	11月22日	1,400人
18		第28回芸能文化まつり	1月24日	400人
19		成人式	1月10日	平成7年4月2日から平成8年4月1日の間に生まれた昭和地区の新成人 139人
20		ロビー展示	6月～3月 5回(全7回)	5団体・出品数59点
21	その他	公民館運営審議会	5月～2月 5回	公民館運営審議会委員(12人)
22		社会教育推進員活動	通年	社会教育推進員(10人)
23		利用者懇談会	3月(予定) 2回	定期利用団体 44団体

平成27年度平川公民館主催事業実施状況報告

H28年1月31日現在

No.	事業名		時期・回数	対象及び延べ参加人数
1	青少年教育推進事業	子どもクラブ	5月～1月 7回	中川小学校・平岡小学校 4～6年生 135人
2		地域ふれあい推進事業	3月 2回	中川小学校児童
3	青少年健全育成事業	青少年相談員支部活動(共催事業)	通年	中富地区青少年相談員(9人)
4		中富ふれあいの会(地区住民会議)	通年	中富ふれあいの会会員ほか 446人
5	成人教育推進事業	幼児家庭教育学級 ※平川公民館と合同開催	6月～2月 7回	中富地区の2歳～就学前の幼児を持つ保護者 48人
6		中富地域家庭教育学級	6月～12月 5回	中富地区の小学生の保護者 82人
7		中学校家庭教育学級	6月～12月 5回	平川中学校生徒の保護者 101人
8		初級パソコン講座	10月 4回	市内在住・在勤成人 59人
9		女性セミナー	5月～1月 7回	中富地区の成人女性 69人
10		ものづくり講座	9月～10月 6回	市内在住・在勤成人 53人
11		園芸講座	6月～2月 8回	市内在住・在勤成人 74人
12		健康講座	6月～1月 7回	市内在住・在勤成人 97人
13	高齢者生きがい促進事業	うぐいす学級	6月～2月 7回	中富地区の60歳以上の方 145人
14	各種行事推進事業	第29回平川公民館まつり	11月7日・8日 2日間	7,106人・出品数1,001点
15		ロビー展示	4月～3月 11回	11団体・出品数135点
16	その他	社会教育推進員活動	通年	社会教育推進員(10人)
17		利用者懇談会	1月25日 1回	定期利用団体 33団体

平成27年度長浦公民館主催事業実施状況報告

H28年1月31日現在

No.	事業名	時期・回数	対象及び延べ参加人数
1	青少年教育推進事業	わんぱく教室 5月～1月 8回	長浦小学校・蔵波小学校 4～6年生 172人
2		長浦ジュニアお琴・ 尺八教室 5月～3月 13回	長浦小学校・蔵波小学校 4～6年生 85人
3		通学合宿 9/27～9/29 (2泊3日)	長浦小学校・蔵波小学校 4～6年生 32人
4	青少年健全育成事業	青少年相談員支部 活動(共催事業)	通年 長浦地区青少年相談員(22人)
5		子ども会支部活動	通年 単位子ども会(5団体)
6		長浦地区住民会議 (ながうら青空の会)	通年 長浦地区各種団体(16団体)
7	成人教育推進事業	幼児家庭教育学級 6月～1月 7回	長浦地区の2歳～就学前の幼児 を持つ保護者 82人
8		地域家庭教育学級 6月～12月 6回	長浦地区の小学生の保護者 87人
9		長浦中学校家庭教育 学級 6月～2月 4回(全5回)	長浦中学校生徒の保護者 81 人
10		蔵波中学校家庭教育 学級 6月～11月 5回	蔵波中学校生徒の保護者 100 人
11		男性セミナー 6月～1月 6回	長浦地区の成人男性 85人
12		女性セミナー 5月～1月 8回	長浦地区の成人女性 254人
13		健康生き生き塾 6月～3月 6回(全8回)	長浦地区の成人 136人
14		ながうら雑学塾 10月～2月 4回(全5回)	市内在住成人 108人
15		環境講座 5月～12月 6回	市内在住・在勤成人 145人
16		初級パソコン講座 1月 5回	市内在住・在勤成人 100人
17		太極拳入門講座 8月 1回	市内在住・在勤成人 17人
18	お正月飾りづくり講 習会 12月 1回	市内在住・在勤成人 25人	
19	高齢者生きがい促進事業	長浦さわやかスクー ル(高齢者教室) 5月～2月 10回	長浦地区の60歳以上の方 854人
20	各種行事推進事業	第30回長浦公民館 まつり 11月7日・8日 (2日間)	7, 271人
21		成人式	1月10日 平成7年4月2日から平成8年4月1日 の間に生まれた長浦・蔵波地区の 新成人 191人
22		ロビー展示 4月～3月 8回(全12回)	8団体・出品数136点
23	その他	社会教育推進員活動	通年 社会教育推進員(10人)
24		利用者懇談会	3月(予定) 1回 定期利用団体 89団体

平成27年度根形公民館主催事業実施状況報告

H28年1月31日現在

NO.	事業名	時期・回数	対象及び延べ参加人数
1	青少年教育推進事業	子ども絵画教室 5月～3月 8回(全9回)	市内小学校4～6年生 115人
2		花まる絵画教室 6月～1月 6回	市内小学校1～3年生 137人
3		ねがたオープンキャンパス(ねこまる) 8月 5回	根形小学校児童 251人
4	青少年健全育成事業	青少年相談員支部活動(共催事業) 通年	根形地区青少年相談員(7人)
5		子ども会支部活動 通年	単位子ども会(7団体)
6		地区住民会議(根っ子の会) 通年	根形地区各種団体(21団体)
7	成人教育推進事業	幼児家庭教育学級 5月～2月 7回(全8回)	市内の2歳～就学前の幼児を持つ保護者 69人
8		地域家庭教育学級 6月～2月 4回(全5回)	根形地区の小学生の保護者 62人
9		中学校家庭教育学級 6月～2月 4回(全5回)	根形中学校生徒の保護者 46人
10		成人絵画教室 5月～2月 9回(全10回)	市内在住・在勤成人 112人
11		女性セミナー 5月～2月 6回(全7回)	市内の成人女性 87人
12		地域再発見講座 5月～2月 6回(全7回)	市内在住・在勤成人 84人
13	高齢者いきがい促進事業	根形ニコニコ教室 5月～3月 10回(全11回)	根形地区の60歳以上の方 317人
14	各種行事推進事業	第29回根形公民館まつり 10月31日・11月1日(2日間)	10,920人・出品数750点
15		成人式 1月10日	平成7年4月2日から平成8年4月1日の間に生まれた根形地区の新成人 60人
16		ロビー展示 4月～3月 12回(全16回)	16団体・出品数182点
17		サークル作品展(旧創作発表・交流展) 3月26日～4月3日	23団体
18	その他	社会教育推進員活動 通年	社会教育推進員(10人)
19		利用者懇談会 2月(予定)1回	定期利用団体 33団体

平成27年度平岡公民館主催事業実施状況報告

H28年1月31日現在

No.	事業名		時期・回数	対象及び延べ参加人数
1	青少年教育推進事業	子ども教室	8月～3月 6回(全8回)	平岡小学校児童 67人
2	青少年健全育成事業	青少年相談員支部活動(共催事業)	通年	平岡支部青少年相談員(11人)
3		子ども会支部活動(共催事業)	通年	単位子ども会(12団体)
4		平岡地区住民会議(名幸ヶ丘の会)	通年	平岡地区各種団体(18団体)
5		幼児家庭教育学級 ※平川公民館と合同開催	6月～2月 6回(全7回)	平岡地区の2歳～就学前の幼児を持つ保護者 52人
6		地域家庭教育学級	6月～12月 6回	平岡地区の小学生の保護者 73人
7	成人教育推進事業	国際理解セミナー	10月～2月 4回(全5回)	市内在住・在勤成人 72人
8		わくわく女性倶楽部	5月～1月 8回	平岡地区の成人女性 98人
9		地域ふれあい事業	12月・2月 1回(全2回)	平岡地区の子どもから高齢者まで 18人
10	高齢者いきがい促進事業	シニアセミナー	5月～1月 8回	平岡地区の60歳以上の方 163人
11	各種行事推進事業	H27年度平岡公民館文化・スポーツまつり	10月31日・11月1日(2日間)	7,010人・出品数439点
12		成人式	1月10日	平成7年4月2日から平成8年4月1日の間に生まれた平川地区の新成人95人
13		ロビー展示	4月～3月 12回	10団体 221点
14	その他	社会教育推進員活動	通年	社会教育推進員(9人)
15		サークル交流会	6月27日	定期利用団体及び地域住民 100人
16		利用者懇談会	3月(予定) 1回	定期利用団体 23団体

平成27年度事業の成果と課題

(1) 青少年教育推進事業
重点施策：公民館における青少年教育推進事業の充実
○成果
【主催事業】
市民会館「子どもチャレンジ教室」や長浦公民館「わんぱく教室」では、各種団体の協力のもと、子どもたちに自然体験をはじめ様々な体験活動を提供し、参加児童相互の交流を図ることができた。
平川公民館「子どもクラブ」では、農業体験を中心に自然体験などさまざまな体験を提供した。サークル・地域団体等と積極的に連携を図り事業を行うことができた。
根形公民館「花まる絵画教室」・「子ども絵画教室」では、公民館まつりや館内ロビー展示などで子ども達の作品を発表する場を設けた。花まる絵画教室については、定員16名に対して28名の申込みがあり、人気を博している。また、「ねがたオープンキャンパス(ねこまる)」では、地域の児童と若者及び中高年の協力者間で、今までにない交流を生むこととなった。なお、今年度は昨年度よりも参加者が増え(3倍近くの申込み)、また、公民館への宿泊体験(1泊2日)といった新しい試みも行った。この事業を通して、それぞれが自分自身の再発見と地域との関わりや役割を再認識する機会を得ることができた。
「ひらおか子ども教室」では、外国出身の講師や企業の出前講座などを招き、特色ある学習を実施することができた。普段触れる機会の少ない内容を実施したことで、参加者児童も新たなことに興味をもったり、発見があったようである。
【各種団体への支援】※地区住民会議
「子ども安全パトロール」をはじめ、地域における子どもの安全を守る取り組みは定着してきた。また、「ながうら青空の会」では、安全パトロール全体会議を開催し、子どもたちの安全を守るために犯罪の起こりやすさなどを学ぶことができ、日々の見守り活動に生かしている。
「デイキャンプ」では、日常体験することのできない薪割りなどの活動を通じ、子どもたちの交流を図ることができた。また、中川富岡地区では2年続けて例年の倍近くの参加者があり、地区住民会議の活動を周知させ機会になった。
「通学合宿」では、公民館に宿泊し、共同生活をしながら学校に通うと

いう非日常生活の中で、自立心や協調性、忍耐力など、たくましい心と身体を育む場を提供することができた。

○課題

【主催事業】

市民会館「子どもチャレンジ教室」や長浦公民館「わんぱく教室」については、子どもたちがより主体性を発揮し、多く関わりが持てる学習内容の工夫が課題である。

平川公民館「子どもクラブ」については、子どもたちの多様な関心に応えるため、農業以外の自然体験など講座内容の検討が必要である。

根形公民館「花まる絵画教室」については、定員以上の参加を受け付けていることで、講師やスタッフの負担、さらには参加者への負担（作業スペースが制約される）といったことが課題となっている。また、「ねがたオープンキャンパス（ねこまる）」は、今年度の申込みが90名を超えるなど、根形小学校の30%以上の子どもたちが参加した。来年度以降、人数が増えて行った場合、公民館のキャパシティやスタッフの確保といった課題が見えてくる。また、地域の若者（N.O.C）による参加が事業継続できるかのキーポイントにもなっている。そのため、成人式に参加した若者へ声掛けなどを実施したり、N.O.Cメンバーのタテやヨコのつながりを強固にすることを公民館としても支援していくことが求められる。

「ひらおか子ども教室」については、昨年度の「子ども世界講座」と「子ども理科教室」を統合し、従来の特色を残しつつ総合的な学習機会を提供したものの、実施日程が学校行事及び他館事業と重なったことから、結果的に参加者の増加につながらなかった。今後は、事業実施日程について調整を行うことが必要である。

【各種団体への支援】※地区住民会議

「子ども安全パトロール」については自主的な運営として定着している。その他のイベントや事業についても地区住民会議の自主的な運営に向けてさらに支援する必要がある。また、「通学合宿」では、特に宿泊する協力者が不足しているなど、協力者を増やしていくことが課題である。

(2) 成人教育推進事業（家庭教育学級）

重点施策：家庭教育への支援

○成果

【幼児家庭教育学級】

毎年開催当初に学級参加者を交えて年間の学習内容を話し合うことで、参加者が主体的に企画運営に関わることができる参加者の意見を反映した学級づくりを行っている。これにより参加する意欲が高まり参加率が向上している。

また、学級参加者の要望を聞いた上で子育てに関する各種の講習会、相談会、実習を企画するため、必要とされている子育ての知識、情報を提供することができた。

講座の中で学級参加者同士で会話する機会を増やしたり、講座終了後も部屋を開放して昼食をとることができるようにしたりすることで、参加者同士の交流が深まるよう努めている。スマートフォンなどのSNSを利用して学級開催時以外でも連絡を取り合っている様子がうかがえるなど、育児についても相談しあえる仲間づくりの場となっている。

5館合同での講演会の開催は、各館単独で開催するよりも質の高い学習の機会を提供することができた。

平川・平岡公民館では合同で開催していることにより各講座での参加者が増え、講座生同士の交流も広がっている。

【地域家庭教育学級】

子育てに関する学習機会の提供と同じ世代の子どもを持つ保護者同士の仲間づくりを目的に、子育てや食育、健康に関することや創作活動など各館とも様々な内容の講座を開催した。企画・運営を公民館だけでなく各校PTAとも連携を図りながら実施した。

今年度の5館合同講演会は、長浦公民館の佐藤館長に講師を依頼して実施したが、袖ヶ浦市の教育現場で長年子どもたちを見てきた経験からの厳しくもやさしい、そして楽しい「子育てへの提言」は、その後も佐藤館長の元を訪れる保護者が多数いたほど大変好評であった。

平岡公民館では、今年度から平岡小学校PTAの協力を得て実施。PTA役員に参加してもらうことで、学級実施の趣旨を理解してもらうとともに、今後の更なる協力体制を確立するための第一段階とすることができた。

【中学校家庭教育学級】

企画・運営を各中学校PTAに委託し、公民館と各校PTAとが連携しながら、子育てに関する講座や調理実習、創作活動など様々な講座を開催した。なお、根形公民館では、児童・生徒数が少ないことから小学校と中学校合同で開催し、それぞれが役割を担うことで保護者同士の交流を深めることができた。

【親業訓練入門・一般講座】

子どもとのより良いコミュニケーション方法を学ぶため、グループディスカッションやロールプレイなどの体験学習（訓練）を中心とした専門講座として実施しているが、今年度も定員となる応募があり、また、前年度の受講者から継続して学習したいとの希望があり、ステップアップした「一般講座」を今年度は受講者任意で開設した。

○課題

仲間づくりの面では一定の成果を上げていると考えられるが、子育てに関する知識の習得や学習活動をもう少し年間計画に取り入れていく必要がある。

学級の学習内容をより充実させるため、これまで以上に子育てに関する関係機関や関係団体との連携を図る必要がある。

幼児家庭教育学級においては、5館合同のチラシやポスターを作成して幼稚園や1歳半検診時、小児科等医院やスーパーなどでの配布や掲示、市の広報紙やホームページに記事を掲載するなど周知活動に努めているが、年によっては定員に満たない地区もあり、より多くの方に参加してもらえよう学習内容の充実とともに広報活動の工夫を図る必要がある。

(3) 成人教育推進事業（家庭教育学級を除く）

重点施策：市民への学習機会の提供

○成果

市民へ様々な学習機会を提供するため、5館全体で23事業を実施した。（家庭教育に関する事業を除く）

市民会館「さわやかセミナー」は、昨年までと企画を変更し、講座のタイトルを「働きざかりの男塾」、対象を主に40歳代から60歳代の男性とし、「健康」をテーマに全3回実施した。今年度は男性のみを対象として参加募集をしたが、申込者はほぼ定員の27人、延べ参加者数は57人であった。

平川公民館及び長浦公民館「初級パソコン講座」では、講座終了後も、講座内にて学習したメールを活用し、講師あるいは講座生同士で繋がりを守るような運営を行った。また、公民館定期利用団体に講師を依頼したことで、講座終了後活動日に質問を受け付ける時間を設け、フォローアップをすることができた。また、「**健康生き生き塾**」及び「**健康講座**」では、体操やウォーキングなど健康に関する内容を取り入れ、講座生同士の仲間づくりを図った。

平川公民館「ものづくり講座」では、包丁の研ぎ方や、手入れの方法のみならず、伝統的な自然砥石や合成砥石について学ぶことができた。また、上総角凧を作成し、技術習得を図ったほか、その歴史について学ぶことができた。「**園芸講座**」では、春に寄せ植えを行った際に使った植物をそのまま生かす形で秋に講座を実施し、継続的な学習を行うことができた。継続学習を行うことで講座の目的でもある身近に緑を感じられる事業展開を行うことができた。

平岡公民館「地域ふれあい事業」では、多くの方に参加してもらい、楽しく和やかな雰囲気の中で良い世代間交流の場となった。

○課題

市民会館「さわやかセミナー」では、男性のみを対象とした講座の企画を継続することが難しく、参加しやすい講座内容の検討が課題である。

平川公民館及び長浦公民館「初級パソコン講座」では、参加者が持参したパソコンがインターネットへ接続できないものもあり、講師の機材を借用することとなったが、持参するパソコンの必要な機能について募集の際の周知をさらに工夫する必要がある。また、新規OSが流通し始めている状況を鑑み、講座内容を時代に即したものに变化させる必要がある。

平川公民館「ものづくり講座」では、活動成果の発表の場を、公民館まつり以外でも設けられるような環境整備が必要である。

(4) 高齢者生きがい促進事業
重点施策：市民への学習機会の提供
○成果 各館とも地区運営委員や社会教育推進員を中心に企画・運営を行い、高齢者の学習ニーズに沿った事業を実施することができ、高齢者の生きがいづくりと参加者同士の交流を深めることができた。
○課題 承り学習になりがちであり、学級生の考えを発言することのできる学習も取り入れる必要がある。

(5) 各種行事推進事業
重点施策：文化・芸術振興のための市民活動の支援
○成果 「市民会館・公民館まつり」や「ロビー展示」では、各種社会教育関係団体等の学習成果の発表の場とすることができた。また、公民館まつりにおいては、講習会や展示、模擬店運営など準備から当日運営まで地域の多くの団体と協力しながら実施することができた。 「市民音楽フェスティバル」と「芸能文化まつり」では、音楽協会や文化協会との連携・協力により、市民が音楽や芸能に触れる機会を設けるだけでなく、各団体の主体的な企画・運営に対し活動を支援することができた。 根形公民館サークル作品展は、来客が多く見込まれる3月末から4月初めの桜の開花時期にあわせて実施している。今年度で4回目となった実行委員会の運営はスムーズに行われている。
○課題 市民会館・公民館まつりについては、多くの定期利用団体の協力が得られるようになったが、企画・運営に主体的に関わってもらえるよう引き続き方策を検討する必要がある。 市民音楽フェスティバルについては、会場や各団体の控室も併せて会場が手狭になっている。出演順や時間等で調整が必要である。芸能文化まつりでは、今年度から市民会館登録サークルも6団体出演するなど、より多くの団体に出演してもらえよう呼びかけていくことが必要である。 根形公民館サークル作品展については、実行委員会の主体的な活動を支援するとともに、「交流」の範囲や方法について検討する必要がある。

議題（２）平成２８年度市民会館・公民館の経営方針（案）について

平成２８年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）

１．経営方針

市民会館・公民館は、第２期教育ビジョンの基本目標である「明日を拓く 心豊かな たくましい 人づくり」の実現に向け、「地域」「子ども」「市民」の視点から、「学び つながり 支えあう教育」を推進します。

そのために、地域の課題や生活上の課題を十分に把握して、社会教育推進員をはじめ地域の社会教育関係団体等との連携により、市民の生活や暮らしを豊かにする学習活動を展開するとともに、これまでの市民会館・公民館事業の成果と課題を踏まえながら教育ビジョン後期計画に沿って各事業を実施します。

２．重点施策

市民会館・公民館は、「地域」「子ども」「市民」に対し今後取り組まなければならない目標を定め、これを遂行するための施策の方向性を重点施策として社会教育の充実を図ります。

（１）地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

①学校・家庭・地域の連携強化による地域の教育力の向上

（ア）地域で子どもを守る体制づくり

子どもの安全を守るための取り組みを行う、地区住民会議及び青少年相談員の活動を支援します。

（イ）子どもたちの体験・交流等の場づくり

子どもたちの体験活動、交流活動を行う、青少年相談員、子ども会育成会、地区住民会議、社会教育関係団体が行う地域の特色を生かした様々な事業を支援します。

②家庭教育力の向上

（ア）家庭教育への支援

市の総合計画の重要な施策と位置づけられた家庭教育学級を、発達段階に応じて開設します。子育てに関する学習とともに、同じ世代の子ど

もを持つ保護者の交友関係が広げられる取り組みを引き続き目指します。

なお、より良い学習機会を提供するため、家庭教育学級において子育てに関する講演会を全館合同で開催するとともに、関係機関・団体との連携を深め、各学級における子育てに関する情報提供の充実を図ります。

平川公民館と平岡公民館では、引き続き「幼児家庭教育学級」を合同で開催して参加者同士の交流をより一層進めます。

また、新たに市役所の子育てに関する関係機関が加入することとなった家庭教育推進協議会において、関係機関及び社会教育推進員を含め家庭教育学級の実施内容の充実を図ります。

(イ)子育て支援体制の充実

ホームページや館報を活用して、家庭教育学級の活動の紹介や子育てに関する情報提供を行います。

③地域の拠点づくりの推進

(ア)公民館における青少年教育推進事業の充実

子どもたちに不足しているといわれている自然体験・社会体験などの機会を提供します。また、集団生活を通して社会生活に必要な規範意識や協調性を身につけ、心豊かなたくましい子どもを育成するために青少年期の課題を的確に捉え、特色のある事業を展開します。

市民会館では、「子どもチャレンジ教室」を、長浦公民館では「わんぱく教室」を引き続き開催し、種々の自然体験や遊び体験などを提供します。実施にあたっては、地区住民会議等の青少年健全育成を目的とした諸団体との連携をより一層深め、事業内容の充実を図ります。

平川公民館では、農業体験や自然体験を通して、農業への理解や自然に親しむ心を育てるため、「子どもクラブ」を継続して実施します。小学生に様々な体験の場を提供するために、公民館サークル・地域団体等との連携を深め内容の充実を図ります。

根形公民館では、文化芸術活動の拠点として、小学生を対象に「花まる絵画教室（低学年）」や「子ども絵画教室（高学年）」を実施し、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、積極的にその活動を周知します。

また地域の若者と協働で、将来、地域を担う仲間となる青少年が集い、交流し、育ちあう場所となる「ねがたオープンキャンパス（ねこまる）」を開催します。

平岡公民館では、自然体験や社会体験の機会を提供するとともに、外国の文化や歴史に関心を持ち国際理解に役立つような、小学生を対象にした「こども教室」を継続して実施します。

(イ)地区住民会議等への支援

子どもの安全を守る取り組みなど、青少年の健全育成に向けた活動を行う地区住民会議の活動を引き続き支援します。

また、地域活動の拠点として、地域住民自らが生活課題をはじめとする地域課題に取り組みやすくするため、公民館職員が課題解決に向けた支援や道しるべを示すような仕組みづくりに着手します。

- ・地域支援づくり事業【長浦公民館をモデルケースにして】

(2) 市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援

①生涯学習推進体制の整備

(ア)生涯学習情報の収集とちば予約システムの充実

関係機関・団体の学習情報を収集し、ホームページの充実と館報の発行とあわせて、窓口での学習相談体制の充実を図り、地域に根ざした公民館活動を展開します。

また、ちば予約システムを活用し、利用者の利便性の向上を図ります。

(イ)社会教育関係団体の活動への支援

利用者懇談会を開催し、市民会館・公民館の経営方針や事業運営についての理解を図るとともに、公民館登録サークル等社会教育関係団体の自主的な運営を支えるための支援を行います。

市民会館では、会員の減少や高齢化が見られるサークルを支援するため、引き続き体験講座を実施しサークルの活性化を支援します。

根形公民館では、各サークルへ講座等の講師を積極的に依頼するとともに「ねこまる」等の事業への参加を呼びかけ、サークル活動の紹介と会員の確保を支援します。

平岡公民館では、サークル同士がお互いの活動を紹介しながら交流を図る場、地域の方々に公民館サークルの活動を紹介する場として、サークル交流会を継続して実施します。

②人と人をつなぐ社会教育の充実

(ア)市民への学習機会の提供と公民館活動の充実

市民の幅広い学習ニーズに応える社会教育の拠点として、また、自己学習から集団学習へとつなぐ学習の場となるよう努めます。そのために、市民会館・公民館で活動する社会教育推進員と地域課題や生活課題を的確に捉え、成人教育推進事業・高齢者いきがい促進事業を展開します。なお、市民の学習ニーズへ対応し公民館事業をさらに充実させるため、市民会館・各公民館全体の平成28年度からの3か年実施計画として「公民館地域連携推進事業」を新たに創設し、関係行政機関や地域の各種団体、公民館登録サークル等と連携・協力を図りながら、高齢者を対象とした講座や防災に関する講座、初級パソコン講座、登録サークル等を講師とした講座などを実施します。

また、新規事業として、平川公民館では、『3あい「であい まなび あい わちあい」事業』を開始します。この事業は、若い独身男女を対象にした教室を開催し、自然な出会いの場をつくろうとするものです。

市民会館では、旧レストランホールの有効活用を期して、「花咲け！女性シェフ応援事業」に着手します。この事業は、若い女性の飲食店起業をサポートしようとするもので、就労意欲の醸成、女性の社会進出、袖ヶ浦の知名度アップを目指そうとするものです。

この他の各館の主な事業としては、市民会館では大ホールの音響機器と照明設備の操作技術の習得のため「舞台コーディネーター養成講座」を実施し、大ホールの有効活用を図るとともに人材の育成を図ります。また、平成27年度から主に働いている男性を対象として企画している講座「さわやかセミナー」を引き続き実施します。

平川公民館では、「ものづくり講座」の充実のために、公民館まつりの作品出品以外にも発表の場を求め、事業を展開していきます。

長浦公民館では、生活環境の改善を図るため、市民の視点に立った内容により「環境講座」を企画し、環境保全への意識を高め生活の見直し

と改善を進めます。

根形公民館では、災害時において、参加者自身が自助・共助により生き延びていくノウハウを学ぶことを目的に、避難所となる公民館で「炊き出し体験」を引き続き実施していきます。

平岡公民館では、地域に住む幅広い世代の交流を目的とし、現代において希薄になっている幅広い世代間の交流の場とする、「地域ふれあい推進事業」を実施します。

(イ)利用者ニーズに沿った施設の整備

市民が利用しやすく安心して安全な施設を提供するために安全点検日を設け、施設の定期的な安全点検を実施し適切な維持管理に努めるとともに、避難訓練を実施し利用者の安全に努めます。また、利用しやすい公民館を目指し運営方法や運営体制を随時見直します。

災害時には地域住民の避難所となることから、避難所としての機能を充実させるため設備や運用方法を整備していきます。

③地域に根ざす文化・芸術活動の推進

(ア)文化・芸術振興のための市民活動の支援

市民会館・公民館では、市民だれもが郷土の芸術に親しみながら教養を高め、創造することを楽しむとともに、社会教育関係団体等の発表機会や交流の場を提供します。

さらに、文化芸術活動の振興として市民会館・根形公民館は、社会教育関係団体等との共催による文化・芸術事業を展開します。

市民会館では、引き続き音楽協会との共催による「市民音楽フェスティバル」と文化協会との共催による「芸能文化まつり」を開催します。なお、芸能文化まつりでは、市民会館登録サークルからも出演団体を募集し、活動の発表と交流の機会とします。

長浦公民館では、わが国の伝統音楽である邦楽を子どもや市民が自ら演奏して楽しむ機会を提供するため「長浦ジュニアお琴・尺八教室」を開催します。

根形公民館では、実行委員会が主体となり「創作発表・交流展」を開催し、主催事業や公民館を拠点として活動する芸術・工芸分野のサーク

ルの学習成果を発表する機会とします。

(3) 市民のニーズに応じた市民会館・公民館づくり

①公民館運営審議会の充実

公民館事業の企画や公民館の諸課題について提案をし、公民館運営審議会の意見を反映しながら公民館運営の充実を図ります。

②運営評価への取り組み

市民会館・公民館の運営評価について、継続的により良い手法を検討し随時見直しを図ります。

③職員の資質の向上

公民館職員の資質の向上のため、君津地方公民館連絡協議会などの研修に積極的に参加します。また、各館の事業担当者による会議や研修会等により職員間の情報共有と新任職員への事業運営や施設管理の基本的な知識の習得を図ります。

平成28年度市民会館・公民館主催事業一覧(案)

	市民会館	平川公民館	長浦公民館	根形公民館	平岡公民館
青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室 子ども映画会	子どもクラブ 地域ふれあい推進事業	わんぱく教室 通学合宿 長浦ジュニアお琴尺八教室	子ども絵画教室 花まる絵画教室 ねがたオープンキャンパス	子ども教室
青少年健全育成事業	青少年相談員支部活動 子ども会支部活動 地区住民会議 (坂戸の森みどりの会)	青少年相談員支部活動 子ども会支部活動 地区住民会議 (中富ふれあいの会)	青少年相談員支部活動 子ども会支部活動 地区住民会議 (長浦あおぞらの会)	青少年相談員支部活動 子ども会支部活動 地区住民会議 (根っ子の会)	青少年相談員支部活動 子ども会支部活動 地区住民会議 (名幸ヶ丘の会)
家庭教育総合推進事業	幼児家庭教育学級 地域家庭教育学級 中学校家庭教育学級 親業訓練入門講座	幼児家庭教育学級 地域家庭教育学級 中学校家庭教育学級	幼児家庭教育学級 地域家庭教育学級 中学校家庭教育学級	幼児家庭教育学級 地域家庭教育学級 中学校家庭教育学級	幼児家庭教育学級 地域家庭教育学級
成人教育推進事業	女性セミナー さわやかセミナー 舞台コーディネーター養成講座	女性セミナー ものづくり講座 健康講座 園芸講座	女性セミナー 男性セミナー 健康生き生き塾 環境講座 ながうら雑学塾 正月飾りづくり講習会	女性セミナー 成人絵画教室 地域再発見講座	わくわく女性倶楽部 国際理解セミナー 平岡地域ふれあい事業
(まち・ひと・しごと創生関連事業)	花咲け！女性シェフ応援事業	3あい「であい まなびあい わ からあい」事業	自分の地域は自分でつく る！地域支援づくり事業		
高齢者いきがい促進事業	昭和ふれあい教室	うぐいす学級	長浦さわやかスクール	根形にこここ教室	ひらおかシニアクラブ
公民館地域連携推進事業	高齢者を対象とした講座・防災に関する講座・初級パソコン講座・登録サークル等を講師とした講座(分担して実施)				
各種行事推進事業	市民会館まつり 市民音楽フェスティバル 芸能文化まつり ロビー展示	公民館まつり ロビー展示	公民館まつり ロビー展示	公民館まつり 創作発表・交流展 ロビー展示	文化・スポーツまつり ロビー展示
成人式実施事業	成人式	成人式	成人式	成人式	成人式
その他	公民館運営審議会 利用者懇談会 社会教育推進員活動 館報発行・ホームページ更新	公民館運営審議会 利用者懇談会 社会教育推進員活動 館報発行・ホームページ更新	公民館運営審議会 利用者懇談会 社会教育推進員活動 館報発行・ホームページ更新	公民館運営審議会 利用者懇談会 社会教育推進員活動 館報発行・ホームページ更新	公民館運営審議会 利用者懇談会 社会教育推進員活動 館報発行・ホームページ更新

報告（１）平成２８年袖ヶ浦市成人式の実施結果について

平成２８年袖ヶ浦市成人式実施結果

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標を掲げ、袖ヶ浦市の成人式を開催した。市民会館・長浦公民館・根形公民館・平岡公民館の４会場に分かれて実施した結果は下記のとおりである。

１．実施状況

昭和・長浦・根形・平川地区は１月１０日（日）午前９時３０分から受付、１０時３０分から式典。蔵波地区は午後０時４５分から受付、午後１時３０分から式典。式典終了後は、それぞれの会場で記念撮影やビデオレターなどの記念行事を実施し終了した。

２．式典出席者

地 区	対 象 者			出 席 者			出席率 %	前 年 出席率%
	男	女	計	男	女	計		
昭和地区	105	87	192	76(9)	63(6)	139(15)	72.4	71.4
長浦地区	54	52	106	42(4)	38(3)	80(7)	75.5	75.0
蔵波地区	67	80	147	55(2)	56(1)	111(3)	75.5	77.1
根形地区	39	27	66	34(3)	26(3)	60(6)	90.9	82.4
平川地区	58	58	116	48(6)	47(3)	95(9)	81.9	86.7
計	323	304	627	255(24)	230(16)	485(40)	77.4	77.5

市外転出参加者含む（カッコ内は市外転出者参加者数）

５年間の推移

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
対象者数(人)	640	707	638	676	627
出席者数(人)	503	518	506	524	485
出席率(%)	78.6	73.3	79.3	77.5	77.4

３．記念行事

各館で行われた記念行事の内容と参加人数は次のとおりである。

【昭和地区】

会 場 市民会館
 内 容 恩師を招いての立食パーティー（１，０００円会費）
 ビデオレター・記念撮影（１，０００円）
 参加人数 １４２人（先生方を含む）

【長浦地区】

会 場 長浦公民館
 内 容 ビデオレター・記念撮影（１，０００円）
 参加人数 ８０人

【蔵波地区】

会 場 長浦公民館
 内 容 ビデオレター・記念撮影（1,000円）
 参加人数 111人

【根形地区】

会 場 根形公民館
 内 容 祝賀パーティー（思い出のビデオ上映）
 中学校へカメラ寄贈（負担金1,000円）
 記念撮影（1,000円）
 参加人数 60人

【平川地区】

会 場 平岡公民館
 内 容 テーマ「感謝」
 新成人の主張、ビデオレター、記念撮影（1,000円）
 参加人数 95人

4. その他の参加者

地 区	来 賓 (実行委員は除く)	実行委員	職 員 (実行委員は除く)	そ の 他	計
昭和地区	18	7	4	10	39
長浦地区	9	10	3	14	36
蔵波地区	13	8	3	13	37
根形地区	5	8	2	10	25
平川地区	7	11	5	4	27
計	52	44	17	51	164

※ 来賓には案内者（主催者）を含む。

※ 実行委員には、新成人は含まない。

※ その他は、社会教育推進員、青少年相談員などの会場設営協力者。

5. 記念品（新成人に贈る袖ヶ浦の10冊）

記念品の申込状況は次のとおり。

地 区	式典出席者	事前申込	当日申込	申込計	申込率%
昭和地区	139	107	7	114	82.0
長浦地区	80	59	8	67	83.8
蔵波地区	111	77	13	90	81.1
根形地区	60	43	16	59	98.3
平川地区	95	66	11	77	81.1
計	485	352	55	407	83.9

(昨年度申込率84.5%)

なお、記念品のアンケート調査の結果は、

「記念品としてふさわしいと思う」	54.8%	(前年59%)
「記念品としてふさわしいと思わない」	15.1%	(前年15%)
「その他」	3.3%	(前年 7%)
「無回答」	26.8%	(前年19%)

※「その他」の主な意見

- ・図書カードが良い。袖ヶ浦市の特産品が良い。本ではなくて集合写真を無料で配布してほしい。本は人によって好みがわかれると思うため、記念品にするのは難しいと感じる。本の種類を増やしてほしい。

6. まとめ（目標に対する結果）

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標に対する結果は下記のとおりである。

【昭和地区】

記念式典では、実行委員として進行や国歌斉唱の指揮・伴奏などを担当した新成人が、それぞれの役割をしっかりと果たし大変立派であった。また、新成人代表として、地域の方への感謝と成人としての責任等について挨拶した新成人も素晴らしい態度であった。ざわつくこともなく厳粛な雰囲気の中で式典が進行し、出席された139名は昭和地区の新成人として誇れる成人式であった。

記念行事では、記念写真を撮影した後、新成人実行委員の企画・運営により立食パーティーが開催された。会場には中学校時代の恩師も多数招待され、新成人から先生方へ感謝の言葉が伝えられた。立派になった教え子達に目を細めている先生方の姿が印象的であった。

このような立派な成人式を開催できたことに、成人式実行委員をはじめ社会教育推進員、青少年相談員昭和支部、昭和地区住民会議など、準備から当日の運営までご協力いただいた多くの方々へ感謝申し上げる。

【長浦地区】

雲ひとつない青天の中、新成人の実行委員をはじめ、社会教育推進委員、青少年相談員が積極的に役割を担い、混乱もなく、スムーズに受付、式典が行われた。来賓紹介、主催者挨拶の間も私語もなく、姿勢をただし、会釈をする姿は、まさしく成人としてスタートするにふさわしいものであった。

記念行事では、恩師からのビデオレターの放映に、当時の学校生活を思い出しては、歓声も上がるなど、和やかな雰囲気で行われた。

本年は公民館前を駐車場とせず、フリースペースとしてあけておき、終了後の友人同士での撮影や交流の場所として利用してもらった。

例年に比べ参加者、保護者等の出席が少なかったものの、素晴らしい成人式だった。

【蔵波地区】

午後になり、1月とは思えないほどの温かさとなったからではないと思うが、爆音を発したバイクを先頭に軽トラの荷台に乗って現れた参加者もいたが、式典に入ると、君が代を大声で歌う者がいたほかは、厳かに行われた。

記念行事の恩師からのビデオレターは、新成人の実行委員の苦勞の甲斐もあり、みなさん映像に見入っていた。

記念撮影では、参加者が多く、時間を要したが、館長の号令のもと、きちんと整列し、素敵な笑顔での撮影となった。

社会教育推進委員、青少年相談員など多くの地域の方に支えられ、午前の長浦地区、午後の蔵波地区の成人式を無事に終えることができた。

【根形地区】

記念式典は、例年以上に厳かで気品のあるものとなった。

新成人代表挨拶は、成人することの自覚などが自分の言葉で語られており、また、成人式を迎えるにあたり、卒業した中学校にカメラを寄贈するなど、新成人の地域への思いを感じた。

さらに、保護者も式典や祝賀パーティーに参加することで、とてもアットホームな成人式となった。

当日実施した第2回実行委員会では、新成人からスタッフへの感謝の言葉が多く、併せて自分たちで作りあげた成人式への満足感が伝わった。また、実行委員から今後どんな場所に行ったとしても、地元への恩返しをして欲しいといった意見が出るなど、活発な意見交換をすることができた。

【平川地区】

記念式典は、実行委員がそれぞれの役割を担当し、温かくも厳粛な雰囲気の中で進めることができた。

記念行事は「感謝」というテーマを決め、新成人の主張では代表者2名が登壇し、これまで育ててくれた両親や地域の方々、先生方に対しての感謝の手紙を読み上げた。

また、ビデオレターでは中学校卒業までの社会の出来事を振り返るといった内容と、恩師からのメッセージを上映した。

家族席も60席用意した9割が埋まり来場した関係者にも好評をいただけた。

恒例となりつつある、式典開始前の新成人実行委員代表者による諸注意を行ったことで、会場全体が静粛になり、厳かな式典と若者らしい希望溢れる記念行事を実施することができ、メリハリのついた成人式になった。

平成28年 「新成人に贈る袖ヶ浦の10冊」 配布状況

番号	タイトル	著者	ジャンル	出版社	市民会館	長浦公民館		根形公民館	平川公民館	合計	
						長浦地区	蔵波地区				
1	レインツリーの国	有川浩	日本の小説	角川文庫	24	14	20	15	7	80	
2	精霊の守り人	上橋菜穂子	日本の小説	新潮文庫	7	4	2	8	5	26	
3	手紙	東野圭吾	日本の小説	文春文庫	13	10	18	5	18	64	
4	誕生日の子どもたち	トルーマン・カポーティ	外国の小説	文春文庫	5	5	1	3	6	20	
5	若者のための仕事論	丹羽 宇一郎	仕事論	朝日新書	14	9	6	3	8	40	
6	おとなの教養	池上彰	学問	NHK出版 新書	14	4	8	11	12	49	
7	絆ストレス	香山リカ	人間関係	青春新書	7	5	6	5	5	28	
8	ゆるく考えよう	ちきりん	人生訓	イースト ・プレス	12	12	14	3	9	50	
9	ソロモンの指輪	コンラート・ローレンツ	動物行動学	ハヤカワ 文庫	10	1	5	3	3	22	
10	沈黙の春	レイチェル・カーソン	環境問題	新潮文庫	8	3	10	3	4	28	
合 計					114	67	90	59	77	407	
					出席者	139	80	111	60	95	485
					配布率	82.0%	83.8%	81.1%	98.3%	81.1%	83.9%